

令和7年4月25日

市政記者各位

経済観光文化局文化施設課

博多座 5月「屋根の上のヴァイオリン弾き」
中洲の黄金期を飾った看板画家による絵看板完成披露除幕式のお知らせ

標記の件につきましては、博多座から別紙の通りリリースが行われますので、お知らせいたします。

なお、こちらのリリースは、株式会社博多座から貴社文化部等へ同内容のものを送付している場合がございます。

(お問合せ先)

株式会社博多座 宣伝 葦刈

TEL:092(263)5860

(福岡市担当)

福岡市経済観光文化局文化施設課 山口

TEL:092(711)4931 (内線 2537)

FAX:092(711)4354



博多座 5月 「屋根の上の ヴァイオリン弾き」

中洲の黄金期を飾った看板画家による 絵看板完成披露除幕式のご案内

博多座5月公演(5月9日～18日)は、日本初演から50年以上人々から愛される名作ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」を上演いたします。日本ミュージカル黎明期を牽引した作品へのリスペクトを込めて、公演ポスターを手描きの絵看板にして飾る企画をご案内いたします。

27年ぶりに中洲に復活！ 博多座が建つ中洲といえば、昨年閉館した「中洲大洋」をはじめ、映画の黄金期には多くの映画館が立ち並び、街には映画看板があふっていました。その看板を描く「看板画家」たちは、中洲の映画文化を陰で支えていた存在です。今回の企画では、現在福岡で最後の映画看板画家と称される中村高徳氏(80)に、博多座で上演される『屋根の上のヴァイオリン弾き』の絵看板制作を依頼。ミュージカル公演と融合させることで、中洲のエンターテインメント文化の歴史を再び呼び覚まそうという試みです。中村氏が手がける絵看板が中洲の劇場に飾られるのは、実に27年ぶり。博多座では初の試みとなります。懐かしくも温かみのある手描きの手法を通して、作品の世界観をより深く感じいただき、世代を超えた感動を共有できればと願っています。約1ヶ月の製作期間を経て、以下の内容にて絵看板の完成除幕式を行い、メディアの皆様にお披露目いたします。地域のニュースとして、絵看板を知らない若い世代にも広く届けたいと考えております。ぜひ取材をご検討いただけますと幸いです。

中村高徳氏をお招きし出演者と共に完成披露を行います

日時：5月8日(木)11時00分～11時30分

受付：10時30分より

場所：博多座エントランスロビー

登壇(敬称略)：市村正親、鳳 蘭

中村高徳(看板画家)

大坪潔晴(博多座代表取締役社長)

看板画家 中村 高徳(なかむら・たかのり)80歳
昭和20年長崎県小値賀出身。17歳のとき、福岡市内で映画の看板を請け負っていた高木画房の故・高木寿夫氏に師事。28歳で独立、ナカムラ看板開業。以後、福岡市内の映画館の絵看板を手がける。ソラリアシネマや、その前身のセンターシネマで上映された数々の映画の看板も描いてきた。今まで手がけた映画の看板の数は1,000点以上にのぼる。平成10年3月の(中洲)ピカデリーを飾った絵看板製作がシアター最後の仕事となつた。福岡市早良区在住。現在は月に4回、絵画教室で地域の方たちへ絵の指導を行っている。

返信先：博多座 Fax:092-263-3632 宣伝 葦刈まで

※お手数ですがFAX・Mail返信の方はご記入の上、5月2日(金)12時までにご返信ください。

ご出席 ご欠席

(いずれかにチェックをお付け下さい)

お名前・人 数	氏名 名	出席者
会社名 番組名		
ご連絡先	TEL Mail	
撮影	有 (ムービーENG ・ ムービーデジ ・ スチール)	無

下記QRコードを呼び込み
フォームでも受付ができます



<https://forms.gle/gM6opDtDReQC1VGh7>

※ムービーカメラ位置は先着順とさせていただきます。(オフィシャル、ENG優先)

【ご案内に関するお問い合わせ博多座 宣伝 葦刈までTEL:092-263-5860 携帯:090-4917-0219】

Mail:ashikari@hktz.onmicrosoft.com